

黒岩氏館跡(入間郡越生町)

築城年代: 鎌倉時代、築城者: 黒岩有光

前方は五大尊つつじ公園/この山麓一帯が黒岩氏館跡だったようだ



左手前方に案内板が立っている



これがそれ/右端に「越生氏分家・黒岩氏館跡」と記された金属板が貼られている



じ公園案内図



越生氏分家・黒岩氏館跡

鎌倉初期、黒岩有光が
興した黒岩氏館跡。

上石流院跡
〒548-0227-1-013
092-422-1111



案内板の後ろを見ると何やら土塁の名残りのようなものがあった



こんな感じ



さて、館跡のエリアという山麓を見たところ/中央やや左手の中腹に見えるのは五大尊を祀った御堂/右下に説明板が立っている



これが説明板



五大尊とつつじ園

越生町黒岩

五大尊ごくだいそんは五大明王ごくだいみょうおうの尊称である。本堂には、中央に大日だいにち如来にょらいの化身・使者である不動明王ふどうみょうを置き、東西南北に降三世こうさんぜ、大威徳だいいとく、軍荼利ぐんだり、金剛夜叉こんごうやしや、明王像まつが祀られていて、カヤ材の割矧造わりはぎうくり、平安時代末期の造立であり、中世以前の五体そろった作例としては県内唯一のもので、埼玉県の有形文化財に指定されている。

山裾を鮮やかに彩るつつじは、享保年間きやうぼう（一七一六～一七三六）の植栽と伝えられている。五月に行われる「つつじ祭り」は、もともとは境内の吒枳尼天社だきにてんしやの祭礼であった。「イナフクミさま」と呼ばれるこの社は、群馬県甘楽郡かんらくの稲含神社いなぐみを勧請したものと考えられ、養蚕の神として信仰されてきた。

つつじの間には、鈴木金兵衛が立てた句碑と、四国・西国さいごく・坂東ばんとう・秩父ちちぶの札所写ふだじしょうしの石碑（巡拝碑じゆんぱい）が点在している。鈴木金兵衛は天明元年（一七八一）黒岩の生まれで、日本橋で古帳類買入所ふるちやうるい（故紙回収業）を営むかたわら、古帳庵こちやうあんと号ふるちやうあんして俳諧をたしなんだ。五十一歳で発願し、全国の霊場を巡った金兵衛は、故郷の五大尊を百八十八札所の写し霊場とすることを思い立った。建碑に賛同して費用を寄進した、江戸の商人をはじめ四百人以上の名前が碑に記されている。

平成二十四年四月

越生町教育委員会

これは躑躅が咲いた頃に、中腹から麓を見たところ



ここに五大明王像が祀られている





こんな石造物もあった



参考ホームページ

<http://jvokakuzukan.la.coocan.jp/002saitama/145kuroiwa/kuroiwa.html>

http://www.ac.auone-net.jp/~kojyou/kuroiwauji_yakata.html

<http://ckk12850.exblog.jp/4386412>

http://blogs.yahoo.co.jp/lunatic_rosier/57623676.html

http://gi001.gokenin.com/tanbou/11_saitama/02_iruma/012_ogose/ogose.html

